

作業環境測定結果報告書（証明書）

殿

貴事業場より委託を受けた作業環境測定の結果は、下記及び別紙作業環境測定結果記録表に記載したとおりであることを証明します。

測定を実施した作業環境測定機関

① 名 称		② 代表者職氏名	印
		②-(2)作業環境測定結果の 管理を担当する者の氏名	
③ 所在地 (TEL、FAX)			
④ 登録番号		⑤ 作業環境測定に関する精度 管理事業への参加の有無	無 有 (年度 参加 No.)
⑥ 連絡担当作業環境測定士氏名		⑦ 登録に係る指定作業場の種類	第 1 2 3 4 5

測定を委託した事業場等

⑧ 名称	
⑨ 所在地 (TEL、FAX)	

記

1. 測定を実施した単位作業場所の名称 :

2. 測定項目 : 騒音

3. 測定年月日 平成 年 月 日

4. 測定結果

A 測定結果〔算術平均値〕	(dB)	L(A)<85	85≤L(A)<90	90≤L(A)
B 測定結果	(dB)	L(B)<85	85≤L(B)<90	90≤L(B)
管理区分	斜線	第Ⅰ管理区分	第Ⅱ管理区分	第Ⅲ管理区分

()内には単位 [ppm・mg/m³・f/cm³・無次元] を記入

管理区分 (作業環境管理の状態)	第1管理区分 (適切)	第2管理区分 (なお改善の余地)	第3管理区分 (適切でない)

【事業場記入欄】(以下については事業場の責任において記入すること)

作成者職氏名		作成年月日	年 月 日
--------	--	-------	-------

(1) 当該単位作業場所における管理区分等の推移 (過去4回)

測定年月日	年 月	年 月	年 月	年 月(前回)
A 測定結果	I II III	I II III	I II III	I II III
B 測定結果	I II III	I II III	I II III	I II III
管理区分	第1 第2 第3	第1 第2 第3	第1 第2 第3	第1 第2 第3

(2) 衛生委員会、安全衛生委員会又はこれに準ずる組織の意見

(3) 産業医又は労働衛生コンサルタントの意見

(4) 作業環境改善措置の内容

作業環境測定結果記録表(騒音用)

報告書（証明書）番号

1. 測定を実施した作業環境測定士

⑪氏名	⑫登録番号	実施項目の別		
	—	デザイン	サンプリング	分析
	—	デザイン	サンプリング	分析
	—	デザイン	サンプリング	分析
	—	デザイン	サンプリング	分析
	—	デザイン	サンプリング	分析

2 騒音作業の種類等

騒音ガイド ⑬ ライン別表 の号別区分	別表第1の第 号 別表第2の第 号	騒音作業 ⑭ の概要		⑮騒音の発 生状況	定常騒音 規則的変動 不規則変動 衝撃音
---------------------------	----------------------	---------------	--	--------------	-------------------------------

3 サンプリング実施日時

⑯ A測定	日別	実施日	開始時刻 (イ)	終了時刻 (ロ)	時間 (ロ) - (イ)
	1日目	年 月 日	時 分	時 分	分間
	2日目	年 月 日	時 分	時 分	分間
⑰ B測定		年 月 日	時 分	時 分	分間

4 単位作業場所等の概要

⑱ 単位作業場所 No.		⑲ A測定の測定点の数	
⑳ 単位作業場所の広さ	m ²	㉑ A測定の測定値の数	
㉒ 単位作業場所について			
(1) 騒音の分布の状況			
(2) 労働者の作業中の行動範囲			
(3) 単位作業場所の範囲を決定した理由			
㉓ 併行測定を行う測定点を決定した理由			
㉔ B測定の測定点と測定時刻を決定した理由			
㉕ A測定点の数を5点未満に決定した理由			
㉖(2) A測定点の間隔を6m超に決定した理由			
㉗ 測定に係る監督署長許可の有無			
有	(許可年月日 年 月 日)	許可番号) 無

5 全体図、単位作業場所の範囲、主要な設備、発生源、測定点の配置等を示す図面

事業場名		作業場名

[記号] ①、②、③……：A測定点 ⑩：B測定点 ●：併行測定点 □：発生源
 ↗：囲い式フード ↗：外付け式フード ←：気流方向 ↗：気流滞留状態
 ↙：上昇気流 ↘：下降気流 ○：気流拡散状態 ■：気象測定地点
 ○：作業者位置 ○：作業者移動位置 └───：単位作業場所の範囲
 ☒：換気扇 ☒：扇風機 ><◇>：プッシュブル
 ※ 単位作業場所の縦・横の寸法は必ず記入すること。その他必要な事項については記載要領を参照。

6 測定データの記録

【A 測定データ】

34 測定点	35 等価騒音レベル Leq (dB)	34 測定点	35 等価騒音レベル Leq (dB)	34 測定点	35 等価騒音レベル Leq (dB)
1		11		21	
2		12		22	
3		13		23	
4		14		24	
5		15		25	
6		16		26	
7		17		27	
8		18		28	
9		19		29	
10		20		30	

積分機能がない場合は、サンプリングデータを別紙添付すること。

【B 測定データ】

(38) L(B1)		
(B2)		
(B3)		

7 サンプリング実施時の状況

(39) サンプリング実施時に当該単位作業場所で行われていた作業、設備の稼働状況等及び測定値に影響を及ぼしたと考えられる事項の概要

〔作業工程と発生源及び作業者数〕

〔設備、防音装置の稼働状況〕

〔ドア、窓の開閉、気流の状況〕

〔当該単位作業場所の周辺からの影響〕

〔各測定点に関する特記事項〕

天候		温 度	°C	湿 度	%	气 流	～	m/s
----	--	-----	----	-----	---	-----	---	-----

8 騒音の測定に使用した機器等

騒音計	④① メーカー名称及び型式		④② ウィンドスクリーン	有、無
	④③ 動特性	Fast, Slow	④④ レベルレコーダー メーカー名称及び型式	
	④⑤ 積分機能	有、無	④⑥ レベルレコーダー 動特性	Fast, Slow

9 測定結果

A 測定	⑦① 算術平均値	L(A)=	(dB)
	⑦② 標準偏差	$\sigma_a =$	(dB)
	76 平均値の計算に用いたデーター数	m =	
B 測定	75	L(B)=	(dB)

10 評価

⑧① 評価日	年 月 日		
⑧② 評価箇所	②①の単位作業場所と同じ		
評価結果	82 A 測定の結果	L(A)<85	85≤L(A)<90
	83 B 測定の結果	L(B)<85	85≤L(B)<90
	84 管理区分	第1	第2 第3
⑧⑤ 評価を実施した者の氏名			